

令和8年度前期 単位互換授業履修対象科目一覧

構成機関名

(秋田公立美術大学)

No.	ページ	授業科目名	担当教員	単位数	学期 ()内初日	受入数	学部等	曜日/時限	備考
1	/	東北生活文化論	石倉 敏明	2	前期 (4/16)	若干名	美術学部美術学科	木 3	
2	/	文化人類学特論	石倉 敏明	2	前期 (4/14)	若干名	美術学部美術学科	火 2	
3	/	異文化コミュニケーション論	村上 由鶴	2	前期 (4/15)	若干名	美術学部美術学科	水 2	
4	/	日本彫刻史	井上 豪	2	前期 (4/15)	若干名	美術学部美術学科	水 3	
5	/	建築史 2	石渡 雄士	2	前期 (4/20)	若干名	美術学部美術学科	月 1	
6	/	近代建築史	石渡 雄士	2	前期 (4/17)	若干名	美術学部美術学科	金 3	

【注意事項】

『特別聴講学生入学願』の提出期日： 令和 8 年 4 月 8 日 (水)

秋田公立美術大学 WEB シラバスの見方について

※3 月後半に公開予定

① WEB シラバスにアクセスします。

https://portal01.akibi.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

② 講義名称や担当教員を入力し、検索します。

AKITA UNIVERSITY OF ART

シラバス検索

検索条件設定 (特に明記のない限り、テキスト項目は中間一致検索)

開講年度: 2024

講義コード: []

講義名称: []

講義副題: []

学則科目名称: []

曜日: 選択なし

時限: 選択なし

講義区分: 選択なし

担当教員: []

時間割: []

授業科目区分: []

履修区分: []

配当年次・学期: []

キーワード: []

以上の条件で検索

クリア

③ ご覧になりたい授業の選択をクリックします。

AKITA UNIVERSITY OF ART

シラバス検索

検索条件設定 (特に明記のない限り、テキスト項目は中間一致検索)

開講年度: 2024

講義コード: []

講義名称: 文化人類学特論

講義副題: []

学則科目名称: []

曜日: 選択なし

時限: 選択なし

講義区分: 選択なし

担当教員: []

時間割: []

授業科目区分: []

履修区分: []

配当年次・学期: []

キーワード: []

以上の条件で検索

クリア

該当件数 1件 (1-1 件目を表示)

	講義コード	講義名称	講義副題	学則科目名称	講義区分	担当教員	時間割	授業科目区分	履修区分	配当年次・学期
選択	401302800	文化人類学特論		文化人類学特論	講義	石倉 敏明	水曜日 2時限	教養科目一層	選択科目	3・4年次前期

<前ページ 1 次ページ>

④ ウィンドウが開き、PRINT をクリックすると印刷等ができます。

AKITA UNIVERSITY OF ART

シラバス参照

PRINT

講義名 (通称)	文化人類学
講義区分	講義
基準単位数	2
時間割	水曜日 3時限
授業科目区分	教養科目一層 歴史と文化
履修区分	必修科目
配当年次・学期	2年次後期

担当教員

氏名

◎ 石倉 敏明

鹿澤 次精

授業の到達目標及びテーマ

文化人類学は地球上のさまざまな民族文化に学び、人類の心の普遍性を核とするユニークで多様な表現や思想、生活様式を理解する方法である。本講義では、種々の文化の根拠にあるコスモロジーと思想、神話や祭り、経済活動や労働、エコロジーや時間/空間認識といった問題を通じてこの方法を深め、日本列島の思想表現と世界の文化を統一的に理解するための考察力を養う。また、地球上のさまざまな地域の芸術実践を知ることにより、歴史と神話の中で生きている人間の条件を理解し、人間と非人間の共存から生み出される多様な表現と創造性についての理解を深める。

授業の概要

本講義では、人間が人間自身の営為について再帰的に思考する方法である人類学の知見をもとに、異なる富貴や文化をもつ人びとが持つ個別性と普遍性への理解を深め、人類の心の普遍性という視点から探究する。講義では映像やテキストを使用して、世界中のさまざまな集団が築き上げてきた芸術表現を通して、その多様性と普遍性に迫る。ここでは特に文化における対立する原理間の相互作用に着目し、神話と歴史、権力と支配、夢と意識、生業と消費、労働と遊びなど、異なる原理の組み合わせによって構築される「複編制 (Heterology) のダイナミクス」について学ぶ。

第1回 コスモスとの出会い - <あわい>の空間 (コンタクト・ゾーン) をひろく

第2回 神話と歴史: 人間はなぜ物語を必要とするか?

第3回 集団と個人: 人格と記号的身体、生きづらさと差別